



神戸学院大学



神戸女子大学



兵庫医療大学



神戸女子短期大学

—健康・生活・安心サポート—

健康生活を守るための 介護予防・介護する人の支援

兵庫医療大学・神戸女子大学・神戸女子短期大学では、それぞれの大学の特色を生かした「介護予防」「介護する人の支援」に関する講座を実施しています。皆様のご参加をお待ちしております。

第41回

究極のバリアフリースポーツ 「ボッチャ」体験

～2020年東京パラリンピック種目「ボッチャ」で体づくり～

日時：2019年 3月 10日（日） 14：00～16：00

場所：兵庫医療大学 G棟 アリーナ

講師：兵庫県ボッチャ協会 副会長 原田 浩明 氏

司会：兵庫医療大学看護学部 准教授 土井 有羽子



ボッチャは、子どもから高齢者まで、障がいのある方も健常者も、みんな一緒に楽しむことができます。赤いボール・青いボールをそれぞれ6球ずつ、投げたり、転がしたりして、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、いかに近づけるかを競うスポーツです。

今回は、4歳以上の方からご参加いただけます。また車いすでのご参加もできます。ぜひこの機会をご利用ください。



【お申し込み先】ポアイ健康・生活支援ステーション(兵庫医療大学内)

①氏名 ②ご住所 ③電話番号 をお伝えください。

TEL 078-304-3013 FAX 078-304-2713

Mail chi-ki@ml.huhs.ac.jp

《 電話の受付時間 平日(月～金)9:00～17:00 》

会場へのアクセス: 兵庫医療大学(神戸市中央区港島1-3-6)



究極のバリアフリースポーツ 「ボッチャ」体験

～2020年東京パラリンピック種目「ボッチャ」で体カづくり～

原田 浩明 氏 伊丹市在住

1998年伊丹市で「ボッチャクラブ」を発足させ本格的に活動
1999年アルゼンチンでの「ボッチャワールドカップ」に参加
第1回日本ボッチャ選手権大会から連続で
第20回(2018年)日本ボッチャ選手権大会に参加
2016年2月「平成27年度兵庫県障害者スポーツ功労賞」を受賞

重度の脳性マヒや身体障がいの方のために考案された、ヨーロッパ生まれのスポーツで1984年からパラリンピックの正式種目として行われています。子どもから高齢者まで、障がいある人もない人も、みんなが一緒に楽しむことができるスポーツです。

ジャックボール(目標球)という白いボールに、スローイングボックスから赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたり、どんな投げ方でもいいので、いかに近づけるかを競います。

障がいによりボールを投げることができなくても、「ランプ」というボールを転がすための傾斜板を使い、自分の意志を介助者に伝えることで参加できます。

競技は、個人戦(1対1)とペア(2対2)、団体戦(3対3)があり、男女関係なく参加することができます。

カーリングのように、相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、白いジャックボールも弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。

2020年東京パラリンピックでも「ボッチャ」の競技が行われます。ぜひ、この機会(チャンス)に、「ボッチャ」を体験しましょう。



今回、FAXでお申し込みの方は、この用紙にご記入の上、下記までご送信ください。

FAX送信先 078-304-2713



ボッチャ 体験 申込書



ふりがな		性別
お名前		男・女
ご住所		
連絡先電話番号		年齢: 歳

※ご記入いただいた個人情報は、本企画以外の目的には使用致しません